



つじ 美津子

市民クラブ

（仮称）津市久居ホール の管理運営は

問 （仮称）津市久居ホールは、芸術文化の振興だけでなく、劇場法を踏まえた事業の実施など、地域活性化にも寄与するものとして地域住民の期待も高く、完成が待ち望まれている。

平成30年5月に行われた津市議会全員協議会で示された「久居モデル」の具体的内容は。

また、ホールへのアクセスを含む地域活性化施策の具体的内容は。

答 「久居モデル」とは、例えば演劇のアーティストを招き、滞在してもらいながら、地域にちなんだ作品づくりを進める中で、そのアーティストが地域住民等へ演技のレッスンをするなど、市民との協働により活動の輪が広がっていくようなイメージであり、出来上がった作品を市内外に発信していくことを考えている。

ホールと近鉄久居駅との間に地元商店街があることは、非常によい立地条件であることから、ホールでのイベントと絡めた物産展や、飲食店でのお得なサービスの提供など、ホールをご利用いただく方が商店街を歩きたくなるような仕掛け、魅力ある事業の展開について、地元の皆さんと知恵を出し合いながら、しっかりと検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 中高年齢者の就労支援は
- 榊原自然の森温泉保養館「湯の瀬」の施設整備について
- 放課後児童クラブについて
- 精神障がい者への支援について
- 児童養護施設入所児童の進学支援について



▲老朽化が進む榊原自然の森温泉保養館「湯の瀬」



はた まさとし 八 太 正 年

自由民主党市議団

市道野村4号線の狭あい部分の整備を

問 市道野村4号線の狭あい部分（久居体育館近く）の拡幅については、市町村合併以前からの懸案事項となっている。

行政も努力はしているが、地権者との交渉が上手くいかず、現在に至っている。

救急車や消防車が入ってくることができない状況であるが、この問題をどのように解消するのか。

答 市道野村4号線の当該部分の拡幅整備については、議員と地域の方が協力し、地権者との交渉に当たっていただいていたが、やはり地権者の方との合意がなければ用地を取得することができないことから、協力いただけるよう、引き続き、取り組んでいく。

また、道路を拡幅すると、車の流れが変わり、交通量が増加し、危険になるなどの新たな課題も生じることから、その点も地域住民と十分に調整していく。



●その他の質疑・質問●

- 矢頭トンネルからのズリ（建設資材）の横流しについて
- 公共工事発注の火薬使用による民家破損の事故等に伴う補償について
- 近鉄久居駅周辺の鉄道高架化について
- 白塚地区および河芸地域沿岸部の海岸堤防改修に係る進捗は
- 藤水地区の公衆用道路の売払いについて など



▲拡幅整備が待たれる市道野村4号線（久居体育館近く）